

1

- 問1 (1) 工業 (2) 製糸場 問2
- 問3 (1) (2) A B
- 問4 (1) 地形 (2) (3) 問5
- 問4(3)「ニューセラミ(ツ)クス」も可
- 問6 (1) (2) 問7 問8
- 問9 (1) 工場 (2) (3) (4)
- 問9(1)「協力」も可
- 問10 (1) (2) 化

2

- 問1 A B C D E
- 問2 (1) 平野 (2) 平野 (3) 平野
- (4) 山脈
- 問3 問4 問5 問6 問7
- 問3 順不同・完答
- 問8

3

- 問1 問2 問3 問4 (1) 収集 (2) 車

配点：1 各3点×20問 2・3 各2点×20問 ※下線部：漢字・カタカナ指定

【解説】

- 1 問1(1) せんい工業は、第二次世界大戦前までは日本で最もさかんな工業で、工業生産額の約30%をしめていました。
 (2) 富岡製糸場は、かつて養蚕地帯であった群馬県に建設されました(1872年)。
 問3(1) ア：金属工業 イ：機械工業 ウ：化学工業 オ：せんい工業
 問4(2) ア：瀬戸市(愛知県) ウ：多治見市(岐阜県) エ：備前市(岡山県)
 問5 イ：中国 ウ：インド
 問6(1) ア：小麦の輸入先 イ：果実の輸入先 エ：石炭の輸入先
 問7 ア：函館市は造船業がさかんな都市です。北海道では室蘭市に大規模な製鉄所があります。
 問8 イ：ボーキサイトはアルミニウムの原料です。
 問9(2) イ：トレーサビリティとは、生産物の生産段階から消費段階までをさかのぼって追跡し調べることができる仕組みのことです。正しくはジャスト・イン・タイム方式〔かんばん方式〕です。
 (3) A：アメリカ D：インド
 (4) ア：石油化学工業〔市原(千葉県)・四日市(三重県)・周南(山口県)〕
 イ：紙・パルプ工業〔苫小牧(北海道)・富士(静岡県)・四国中央(愛媛県)〕
 ウ：せんい工業〔今治(愛媛県)・岸和田(大阪府)・倉敷(岡山県)〕
 エ：自動車工業〔豊田(愛知県)・鈴鹿(三重県)・広島(広島県)〕
 問10(1) アメリカとの貿易摩擦に対して、日本は輸出台数を自主的に減らしたり、現地生産方式を導入したりしました。アメリカは、円高ドル安にすることで、日本車のアメリカでの販売価格が高くなり、販売台数が減少すると考えましたが、思うようにはいきませんでした。
- 2 <地図中> イ：十勝川 エ：北上川 オ：信濃川 ク：吉野川 ケ：大淀川
 問6 イ：かわらをしっくい固めているのは沖縄県に見られる家の工夫で、台風に対する備えの1つです。
- 3 問2 ア：再生利用(資源にもどして再利用) イ：再使用 ウ：修理
 問4(1) 「混ぜればゴミ、分ければ資源」といわれ、分別しないと再資源化はむずかしくなります。
 (2) ゴミ収集車のことです。パッカー車が集めたゴミは、クリーンセンター(清掃工場)へ運ばれて処理されます。